

飢餓のない世界を目指して

国連WFPニュース

NOV.2013 Vol.41



World Food Programme

wfp.org/jp

www.wfp.org/jp

- ACジャパン支援キャンペーン「給食でエベレスト」
- 戦闘続くシリア国内と周辺国で緊急支援
- スーダンの支援の現場から

- 私たちの国連WFP支援 株式会社高島屋
- 「RED CUP CAMPAIGN」レポート
- 「WFPエッセイコンテスト2013」開催報告

ニュースレターの名称が新しくなりました。

この度、ニュースレターの名称を「食糧支援ニュースレター」から「国連WFPニュース」に変更しました。「国連WFP」という名前をもっと皆様にご認識いただき、飢餓のない世界を目指す支援の輪を広げていきたいと考えています。今後とも、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

給食が、エベレストへ向かわせた。

2008年5月、17歳でエベレスト登頂を果たしたニムドマ・シェルパ。彼女の夢を育てたのは、国連WFPの学校給食でした。

食べられるから、食べる。食べるから、夢がふくらむ。

貧困に苦しむ世界の子どもたちに、希望の給食を届ける。国連WFPの学校給食プログラムにご協力ください。

国連の食糧支援機関
国連WFP
0120-496-819 WFP 検索
wfp.org/jp

ACジャパンは、この活動を支援しています

AC JAPAN

公益社団法人 ACJAPANは、全国の1,000以上の企業と団体が参加する民間の慈善組織です。

ACジャパン支援キャンペーン「給食でエベレスト」 国連WFPの学校給食で育った登山家、ニムドマ・シェルパさん

国連WFPの「学校給食プログラム」への支援をよびかける公共広告『給食でエベレスト』が、公益社団法人ACジャパンの2013年度支援キャンペーンとして、7月1日より2014年6月30日までの1年間、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌や交通広告を通じて全国展開されています。本広告では、子どものころ国連WFPの学校給食を食べて育ち、2008年に17歳でエベレスト登頂を果たしたネパール人女性の登山家、ニムドマ・シェルパさんが主人公として描かれています。「いつもおなかがかすいていたけど、学校に行けば給食を食べられたの。」と語るニムドマ

さんは、学校給食があったおかげでしっかり食べて学ぶことができ、エベレスト登頂の夢を持つことができましたと語ります。途上国には空腹の状態で学校に通う小学生が6,600万人います。また、学校に通うことすらできない子どもたちも大勢います。本広告はそうした子どもたちに栄養たっぷりの給食を提供し、健全な発育を助け、教育の機会を広げている国連WFPの学校給食プログラムの意義を描いています。放送中のテレビCMは、ACジャパンのホームページ(www.ad-c.or.jp)の支援キャンペーン

欄からご覧になれます。ニムドマさんの紹介ページを開設しました(www.redcup.jp/nimdoma)。こちら是非ご覧ください。国連WFPは世界のおよそ60カ国で2,000万人以上の子どもたちに学校給食を届けています。学校給食をきっかけとしてエベレスト登頂の夢をかなえたニムドマさんを通じて、国連WFPの学校給食プログラムについて多くの方に知っていただき、支援の輪が広がることを願っています。(広告企画・制作:ジェイアール西日本コミュニケーションズ)

国連 WFP では皆様からの継続した支援を必要としています！



シリア北東部。支援食糧を積んだ国連WFPのトラックを待つシリア人避難民たち。

©WFP/Abeer Etefa

紛争が続くシリアでは戦闘が激しさを増し、国人口の3分の1近くが家を失い、国内の別の地域や周辺国に避難しています。

紛争によりシリアの小麦生産量は危機前と比べて4割減り、価格は2年間で2倍に高騰するなど、食糧事情が悪化しています。家を失い避難している人は生計の手段を断たれ、支援が命を支えています。

国連WFPはシリア国内で活動する支援団体としては最大規模で、シリア全土で緊急に小麦粉、米、パスタ、豆、塩、砂糖、植物油などの食糧を配布しています。また、特に栄養を必要とする乳幼児に対してはピーナツペースト状の栄養強化食品等を配り、栄養不良の改善と防止をはかっています。

国連WFPはシリア国内でトラック1,200台を稼働させ、400万人への食糧支援を目指し活動を拡大させています。国連WFPは政治的には中立であり、シリア政府の支配地

域と、反政府勢力の支配地域の両方で同じように食糧を配布しています。

しかし、治安の悪化や道路の封鎖、また政府や反政府勢力に支援活動を阻害されることがあり、食糧を届けることができない地域もあるのが現状です。また、激戦地では包囲されている地区があり、住民が脱出できず、また支援も入れない状況で、人びとの健康状態が懸念されています。国連WFPは現在、支援を阻害されている地域についても食糧を届けられるよう、交渉を進めています。

また、シリアの周辺国であるヨルダン・レバノン・トルコ・イラク・エジプトに逃れたシリア難民100万人以上にも支援を行っています。こ

らでは主に、指定店で食糧の購入に使える食糧引換券を配っています。国連WFPが食糧を現物配給する場合と違って、生鮮食品なども手に入れられること、また難民を受け入れている地域の経済活性化にも繋がるのがメリットです。

今までは紙に印刷した券を配っていましたが、10月にはレバノンで、MasterCardが技術を提供し、カードタイプの引換券の配布が始まりました。このカードには毎月、家族一人あたり27米ドルが自動的にチャージされ、指定店での食品購入に使えます。紙の引換券と比べ、電子化されているので管理の手間とコストが大幅に削減できます。

また、国連WFPはヨルダンの難民キャンプなどの学校で給食を提供しています。シリア人児童の4割近くが学校に行けず教育が中断されている中、給食は子どもたちが勉学を再開する呼び水になっています。

国連WFPは日本政府から、シリア国内および周辺国での活動に対し、2011年以降で17億円以上の拠出金の提供を受けました。また、企業、個人の皆様にも多くのご支援をいただき、感謝申し上げます。

しかしながら、シリア緊急支援の活動資金は足りていないのが現状です。これは国連WFPが全世界で行っている活動の中でも最大かつ最も複雑なもので、十分な支援を行うためには毎週およそ30億円の活動資金が必要です。シリアの人びとの命と希望を支えるため、引き続きご支援をよろしくお願いたします。



ヨルダンの難民キャンプに逃れた母子。家族の食事は国連WFPからの配給でまかなっている。

©WFP/Rein Skallerud

国連WFPには50名を超える日本人職員がおり、世界の支援現場で職務にまい進しています。今回は、国連WFPスーダン南・東ダルフール州地域事務所勤務する日比幸徳を紹介します。

Q.スーダンでどんな仕事をしていますか？

私は、紛争で住まいを追われた人々への食糧支援や学校給食プログラムを主に担当しています。スーダン・ダルフール地方では過去10年間も紛争が続き、最近また激化しています。どこの誰に、いつ、どのような食糧をどれぐらい、どうやって配るかなどを考え、最適な提案を行うのが私の仕事です。

Q.ご家族も一緒ですか？

4歳と2歳の子供がいますが、治安等の理由から単身赴任となり、家族は広島に残りました。スーダンの状況を子どもたちに教えるのは難しいですが、家族が暮らす東広島市の人口(19万人)が、自分が担当する学校給食の支援対象者数とほぼ同じなので、市役所の展望フロアに連れていき、「ここで暮らす人と同じ人数に給食を配っているよ」などと説明しています。

Q.仕事で一番大変なのは何ですか？

治安が悪いことです。7月には私たちの宿舎近くで銃撃戦があり、激しい銃声が聞こえる中、宿舎の中の避難室に避難し、平和維持活動(PKO)を行う部隊の救出を待ちました。銃撃戦が沈静化したと思われた頃、PKO部隊の武装車両が宿舎前に到着したと連絡を受け、防弾チョッキを着て外に出ました。が、近くでまた銃撃戦が始まり、私はトラッ



©WFP/Yukinori Hibi

クの荷台部分に飛び乗ることとなりました。身を守る囲いが何もない状態で、無事PKO部隊のキャンプに到着できたものの、今までで一番身の危険を感じました。

Q.一番感動したのはどんな時ですか？

ダルフールの小学校を訪れた際、国連WFPの給食支援を受けている子どもたちに将来の職業について聞いたら、生き生きとした顔で「先生」、「看護師」、「ビジネスオーナー」などと大きな

声で答えてくれました。自分の行ってきたことの積み重ねがスーダンの子どもたちの未来につながっているのかも強く感じて感動しました。

Q.あるべき支援の姿とは？

自分が他の人に本当にしてもらいたい扱いを、自分の損得を重要視せず、他の人に行くことだと思います。これからも同僚、上司、パートナー、支援を受ける人びとから学び続けていくつもりです。

私たちの国連WFP支援 株式会社高島屋



©Raymond Briggs / Blooming Productions Ltd. 1991-2013

<レイモンドブリッグズ>
チャリティーサンタ人形「願いを聞かせて」

株式会社高島屋は、百貨店という業態を生かした取り組みで2001年から国連WFPを支援しています。

多くの顧客が来店する各店舗のスペースを活用した国連WFPの活動紹介展示をはじめ、「タカシマヤ友の会」の年2回の新規入会キャンペーンでのマッチング寄付やクリスマスシーズンの「オリジナルチャリティーサンタ」人形の販売、カタログギフト「ローズセレクション」での「国連WFPへの寄付」メニューの導入等、その支援は幅広く、多様です。また、横浜高島屋では今年6月、横浜市で開催された第5回アフリカ開発会議(TICAD V)に際して、国連WFPの写真展示「国連WFPとアフリカ『食糧で守る未来』〜竹下景子親善大使が見たセネガルの生きる源〜」とチャリティーオークションの、会場提

供や運営協力を行いました。2009年には、開店50周年記念チャリティー企画も実施しました。

2012年度には、総額15,760,000円が国連WFPに寄付されました。寄付だけでなく、様々な取り組みを通じ社員一人一人の社会貢献への理解が広がっています。また、こうしたチャリティー企画を同社のチラシやウェブサイト等の制作物やコミュニケーションツールでより多くの方々に発信するなど、広報面でも協力しています。今年も11月27日から恒例の「チャリティーサンタ」の販売が始まります。同人形の売上金の一部が国連WFPに寄付されると同時に、サンタを手にとったすべての方に国連WFPの掲げる飢餓撲滅の願いが伝えられます。今後も国連WFPへのオリジナリティあふれる支援が期待されています。

国連WFPでは「皆さんの力で、給食が届く、世界がより良くなっていく。」を願いとして、「RED CUP CAMPAIGN」を展開しています。様々な企業が商品にレッドカップのマークを入れ、その売り上げの一部を寄付する取り組みを展開していますが、2013年7月以降、新たにキャンペーンに参加して下さった企業をご紹介します。現在進行中、並びに過去の事例はレッドカップキャンペーンのサイト(www.redcup.jp)をご覧ください。

株式会社ビバック

クレーンなどの建設機械の販売とレンタル(2013年8月から2014年7月末まで)



©ビバック

株式会社ブルボン

「ルマンド」や「ホワイトロリータ」などオリジナルビスケットシリーズ(2013年9月から2014年3月末まで)



©ブルボン

プリマハム株式会社

とろ〜りデミたまハンバーグ270g(3個)(2013年9月から2014年3月末まで)



©プリマハム

「WFPエッセイコンテスト2013」開催報告

国連WFPは、「給食(お弁当)の思い出」をテーマに「WFPエッセイコンテスト2013」を開催し、7月1日から9月10日まで、小学4年生から大人まで幅広い世代を対象に作品を募集しました。全国から寄せられた12,410通の作品の中から最優秀賞にあたるWFP賞に選ばれたのは、東京都足立区立区立洲江中学校2年、大竹葉月さんの作品「給食への思い」です。本作品には、大竹さんが小学3年生の時に給食を通じて体験した出来事がつづられており、心に響く素晴らしい作品です。10月16日の「世界食糧デー」には国連大学で表彰式を開催。俳優の辰巳琢郎さんや音楽評論家の湯川れい子さんも参加する中、受賞者の方々をお祝いすると共に、皆で飢餓の問題について考えました。専用ウェブサイト(www.redcup.jp/essay/2013)では、俳優の竹下景子さんによるWFP賞受賞作品の朗読映像や、入賞作品7点、表彰式の様子等を掲載していますので、ご覧ください。

本エッセイコンテストでは、応募1作品につき給食約1日分(30円)が3社の協賛企業よりそれぞれ寄付され、寄付金額は1,116,900円(1社あたり372,300円)となりました。これにより、およそ37,200人の子どもたちに給食を届けることができます。ご参加・ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



©JAWFP

国連WFPでは皆様からの継続した支援を必要としています！



© WFP / Rein Skullerud

～世界の子どもたちに栄養と希望を～

世界には、空腹状態のまま学校に通う子どもが6,600万人、また学校に全く通えない子どもが6,700万人います。国連WFPは、世界約60カ国、2,000万人以上の子どもたちに、栄養価の高い給食を届けています。給食が食べられることで、子どもたちは学校に通えるだけでなく、集中して学習することができます。健康で希望あふれる毎日を送ることができます。

1日30円の学校給食が、その日唯一の食事となる子どもがたくさんいます。国連WFPの「学校給食プログラム」にぜひご協力ください。



例えば、毎月 **5,000円** のご寄付を1年間で(1日あたり約167円)

子ども12人に栄養たっぷりの学校給食を1年間届けることができます。

*「毎月の寄付」のほかに、任意の金額を随時ご寄付いただく「今回の寄付」もごさいます。

寄付方法

- ✓ クレジットカードで
- ✓ 銀行またはゆうちょ銀行から
- ✓ 楽天銀行から

お申込み、
お問い合わせは
こちらから ▶▶▶



0120-496-819

電話で

受付時間9:00~18:00(年末年始を除く毎日)※携帯電話・PHSからつながります

インターネットで

www.wfp.org/jp

※国連WFPへのご寄付は、寄付金控除など税制上の優遇措置を受けられます。